



石塚 宏一

(プロデューサー・原案・企画)

ーごあいさつー

本日は、地球TERRAの公演にお越し頂きまして、誠にありがとうございます。お陰様で、第4回目の公演を令和になったこの5月に行うことができました。我々一人一人が地球の一部であり、地球人として自覚の覚醒が、創作バレエ地球TERRAの恒常的テーマです。

近年、各々の国、民族、宗教のアイデンティティ、文化をリスペクトした上で、同時に地球的視点で、地球人としての自覚を持ち、地球規模の課題に取り組むことが益々重要になってきています。令和になり、日本人の笑顔と揺るぎない平和への想いは、更に世界に必要となっていく事でしょう。

この公演のビジョンは地球の持続可能な開発目標 (SDGs) に通ずるものです。SDGs は2015年の国連のサミットで、全会一致で採択された国際目標です。その理念である、「誰一人取り残さない - No one will be left behind」に共感し、多くの方の協力と献身のもとに、この公演は実現しました。

振付は浅井永希が担当し、言語の壁を超え、セリフのない創作バレエというユニークな形で表現しました。我々一人一人がこの美しい惑星地球の一部であり、私たちの思想、行動が憎しみの無い地球を作っていく大切な要素である事を世界に伝えていく役目ができたら幸いです。

また、新しい芸術の創造とシナジーに挑み、森田梅泉さんの篠笛、アーティスト小番今袴さん、ネパールの女性芸術家ネーティサワルシアさんの絵、そして書家の今野沙穂さんの字を舞台表現に取り入れました。

今回の作品の主題は「許し」です。行き場の無くなった怒りと悲しみは、この世で最もやっかいな「憎しみ」の連鎖を生み、「憎しみ」はこの世で最も難しい行為である「許し」を通じて、歯止めをかけることができる。人を許し、許され、自らを許し、尊き互いの存在を受け入れた時、地球に一層の光をもたらし、人々に喜びがやってくるのではないか。それが私たちの願いです。

1000年後、2000年後への道標となる理念なればと思います。

～世界の人々の安寧と幸せのために Pax Terra (地球の平和)～



森田 梅泉：笛奏者

【プロフィール】

作曲家・木の実・隕石・翡翠・篠笛・能管・龍笛・心笛・フルートなど様々な笛を奏でる。2007年N.Y、ハワイ島公演を経て演奏家デビュー。全国各地演奏活動のほか、八坂神社南楼門竣工「音開」、石清水八幡宮「石清水灯燈華」など、各地の神社仏閣にて奉納演奏を務める。「24時間テレビ」に自信作曲の『ありがとう』で出演。石川さゆり新歌舞伎座公演1ヶ月出演。同年、京都八坂神社南楼門・修復竣工の「音開」を務める。2017年より梅泉音楽世界「天界楽」を開始。

パリ「セント・レオン教会」、ミラノ「ボロッセオ宮」演奏出演。



倉斗 絢子：ミュージカルシンガー

【プロフィール】

京都市出身 2002年 勅祭 京都葵祭において 第47代 斎王代を務める 2004年 劇団四季入団 リトルマーメイド アクアータ 美女と野獣 タンス夫人 赤毛のアン ステイシー先生、リンド夫人 他、オペラ座の怪人、サウンドオブミュージックなど多数の作品に出演。現在は、茶道を学びながら日本文化を伝える仕事に携わる。



神保 美喜：女優 (語り)

【プロフィール】

青山学院大学文学部英米文学科卒業。日本テレビ系「スター誕生！」第15回グランドチャンピオン。「はじめてのワルツ」で歌手デビュー。松竹映画「パーマメント ブルー真夏の恋」で女優デビュー。その後、女優と並行して歌番組の司会など多方面で精力的に活動する。近年の舞台出演は、2014年「若草物語」TVは2016年「24時間テレビ 盲目のヨシノリ先生」、2017年「十津川警部シリーズ4」など。現在のレギュラー番組は、文化放送「神保美喜のTea Lounge」



小番 今袴：アーティスト

【プロフィール】

地球のかけらで宇宙を描く光の表現者。

2001年、夢の中で色とりどりの「龍」や地球上にないような美しい景色を見るようになる。

2003年、天啓を受け絵画など表現方法の探求に没頭。

2007年、カンヌ国際展覧会銀メダル受賞をきっかけに芸術の世界へ。

エネルギーや宇宙観を独特な技法で表現。素材は地球のかけら＝砂、天然石、宝石、植物。

ミッションは日常に満ち溢れている「美しいもの」を具現化して表現すること。

【振付】浅井 永希 【振付補佐】庄田 絢香 【舞台監督】嵯峨 敏史 【音響】山崎 剛史 【照明】長瀬 有紀子 【書家】今野 沙穂
【デザイン】鈴木 恵 【映像】小澤 和之 【背景絵】ネーティ・サワルシア